

平成28年度 事業計画書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

特定非営利活動法人 Being ALIVE Japan

1 事業実施の方針

平成28年度も、平成27年度同様、アウトリーチスポーツプログラム、及びその他の事業を通じて、関東圏内にある病院、学校、地域内で病気や障がいのあるこども、及び健常児にプログラム提供をする。プログラムを通じて、スポーツ・レクリエーション活動参加の増加、プログラム認知度の向上と定期的かつ継続的なプログラム導入と体制をさらに強化していく。大学アスリートチームや現役アスリートとのパートナーシップづくりを強化するために②国内外の非営利団体を連携や③アドボカシー事業を通じて、こどもたちの地域交流の機会を促していく活動にも取り組む。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施 予定 日 時	実施 予定 場 所	従事者 の予定 人数	受益対象者 の範囲及び 予定人数	事業費の 予定額 (千円)
国内外でのアウトリーチスポーツプログラム事業	多様なスポーツの体験を通じて、スポーツから得られる価値を学ぶアウトリーチスポーツプログラムの企画・提供。病気や障がいのあるこども、また健常児向けに病院、学校、そして地域スポーツ施設で提供する。	通年	関東地域圏内	60人	関東圏内 近隣住民 不特定多数 500人	6857
国内外のNPOと連携したスポーツ・レクリエーション事業	米国非営利団体と連携し、大学アスリートと難病のあるこどもの関係を構築し、チームとの交流を通し、こどもの生活の質の向上に繋げる。	通年	関東地域圏内	30人	関東圏内の 大学生と 長期療養を必要 とするこどもと そのご家族 100人	3632
病気、障がい、社会の多様性(Diversity)への理解を促進するイベント企画・アドボカシー事業	こどもたち、およびアスリートがスポーツの気づきを紹介する展示会を開催。展示会を通し、一般への病気や障がいのある個人のニーズへの理解を促す。	通年	関東地域圏内	10人	関東圏内 近隣住民 不特定多数 200人	565
小児慢性疾患児・障がい児向けのスポーツ・レクリエーション活動を指導する人材育成事業	大学生または市民向けに、アウトリーチスポーツプログラムの進行、および障がい児向けのスポーツ・レクリエーション活動を指導する人材を育成する講習を実施する。	通年	関東地域圏内	10人	関東圏内 近隣住民 不特定多数 100人	1610